

奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会
奈良市大森西町13-16
電話0742-33-7266
FAX 0742-34-5826
HP naramsyo.jp

記帳会

【日時】
11月18日(水)
13:30
【持ち物】
領収書・帳簿
筆記用具・電卓



絵手紙教室

絵手紙教室は、新型コロナウイルスの感染予防と、みなさんの健康を守るためにしばらくお休みします。

「民商で助かった」の声広がる

全商連総会(11/15)に向け仲間を増やそう

コロナ危機の下、奈良民商には会の内外から相談に訪れる中小業者が後を絶ちません。10月には14回の相談会に32人が参加。民商の支援を受け、持続化給付金を11人、家賃支援給付金を15人、国民健康保険料減免を8人、緊急小口資金を2人が申請しました。
こうしたとりくみの中、新たに商工新聞読者9人、会員5人の仲間を迎えています。役員会では引き続き、困っている業者を助け、全商連総会（11月15日）に向けて、前総会時現勢回復突破目標を達成しよう」と話し合っています。



7月に生まれたのあちゃんを抱く谷口駿一さん

谷口駿一さん（厨房器具製造）
Ⅱ学園前支部Ⅱは、2015年の開業以来、着実に業績を伸ばしてきました。
ところが4月以降、新型コロナウイルスの影響を

受けた飲食業者が改装工事を控えたことから、注文が激減。困った谷口さんは民商に相談し、5月に持続化給付金100万円を獲得。7月には子どもが生まれ、奈良市新生児子育て応援給付金10万円、10月に家賃支援給付金40万7196円を実現。国民健康保険料の減免申請で72000円の国保料が全額免除になりました。
雇用調整助成金も8月末に申請し、10月に5、6月分の休業手当の16万円が入金されました。谷口さんは、事業を大きくしたいと思い従業員を雇ったところ、突然のコロナ。民商で助かりました」と喜んでいきます。

済美支部がポスター行動



片石健司さんは商品が並ぶお店の棚の前に張り出しました。

済美支部はさきごろ、宣伝行動にとりくみ、松尾恵美子支部長（印刷関係）は事務所に、片石健司副支部長（野菜・古着販売）は店先に、それぞれ民商ポスターを貼り出しました。
役員会で4月以降、コロナの相談を通じて入会者が相次いでいることを知り、もっと民商を知らせたい。まずは自分たちから」と話し合い、ポスターの張り出しを決めたもの。
松尾さんは、チラシ配布と違うことで、民商の宣伝をしたいと思っていた」と話し、片石さ



松尾恵美子さんは事務所に張り民商をアピール。よく目立ちます。

んは、多くの会員の協力で、支部内にポスターを張り巡らせた」と意気込んでいます。

患者さんに寄り添う施術



「体の不調は、心の不調につながります。気軽にお越し下さい」と話す、田尾幸雄さん

こどの鍼灸整骨院

田尾幸雄さん

田尾幸雄さん（南支部）は神殿町で「こどの鍼灸整骨院」を開業して20年。患者さんに寄り添った施術」に心掛け、傷んだ体が早く治る」と評判で、老若男女に喜ばれています。田尾さんは「子どもの頃、スポーツをしていてケガをしたとき、身体を治すことに興味を持った」と、この仕事に就いたきっかけを語ります。

少林寺拳法三段の田尾さんは、はじめはカイロプラクティック（整体）で開業し、営業しながら柔道整復師、鍼灸師の資格を取り、現在の鍼灸整骨院としての営業に変わりました。

「こどの鍼灸整骨院」には、スポーツをしている小学生、中高生、中年、高齢者など、幅広い年齢層の人たちが、いろいろな症状で訪れます。田尾さんは、患者さんの話を丁寧に聞いて、その人に合った施術を行います。

「こどの鍼灸整骨院」の施術の特徴は筋膜治療と井穴（せいけつ）の鍼灸治療です。

筋膜治療とは、コリや痛みの原因となる、筋肉を覆っている膜の縮みや絡まりを元に戻して症状を改善する治療で、奈良県では田尾さんだけが行っていません。

井穴（せいけつ）の鍼灸治療は井穴刺絡（せいけつしらく）という指先のツボに針を刺して出血刺激を加え、自律神経を調整する施術法です。

こうした治療を受けるため、遠方からも訪れる人もあります。

田尾さんは、患者さんが明るい表情で帰られるのが何よりも嬉しい。これからも身体悩み持つ人のお役に立ちたい」と話しています。

子の未来のために政権交代を

市民連合集会 前川喜平さんが講演

奈良市民連合は10月25日、奈良市内で集会を開催し、750人が参加しました。

第1部では元文部科学事務次官の前川喜平さんが「子どもたちの未来のために私たちは何ができるか」をテーマに講演しました。前川さんは「三権分立が壊され、独裁に近づいている」

菅政権の考え方は「穴よりも経済」の新自由主義」と、今の政治を厳しく批判。子どもたちが学ぶ力をつけ、未来を創っていけるようにしよう。そのために政権交代を」と訴えました。

第2部では、市民と野党で連合政権を」と日本共産党、立憲民主党など野党の代表が決意を表明しました。

チラシを見て参加した会員のTさん（伏見南支部）は、新聞などで知ったことが再確認できた。今の政治は右に偏りすぎている。前川さんのようなまともな公務員が、今の政府で働くことができないことが残念。野党が一丸となって今の政権を倒してほしいと思います」と話していました。



開場前から行列ができ、会場はいっぱいになりました。



「疑問を持つことが大切」と話す前川さん